

# 令和2年度 事業報告

(令和2年4月1日から令和3年3月31日)

## I 事業の概要

愛媛県八西地区（八幡浜市および西宇和郡伊方町）を中心とした南予地域の医療を担う医師を確保し、同地域の医療の充実および万一の原子力災害に備えた医療体制の整備に寄与することを目的に、愛媛大学医学部医学科生を対象に奨学金を貸与し支援・助成する。

令和2年度の事業は以下のとおりである。

## II 事業の状況

### 1. 奨学生の決定および支援

#### (1) 奨学生の決定および奨学金の貸与

- ・2年度の奨学生について、2月21日から4月20日の間で募集したところ、応募者がなく、募集期間を12月20日まで延長したが応募者がなかった。
- ・令和元年度の奨学生3名に対して、奨学金を2ヶ月分まとめて偶数月20日に貸与した。

#### (2) 奨学生への支援および懇談

- ・地域医療を担う医師を目指す奨学生に、早い段階から地域医療の実情に触れ実感してもらうことを目的に、南予地域の病院見学および懇談を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症が収束せず、やむを得ず中止した。
- ・奨学生の意識を高めるとともに、当財団奨学金の趣旨を十分理解し、修学に有効に活用してもらうことを目的に、2月18日および3月8日に懇談を実施した。

### 2. 奨学生の募集および広報・PR活動

#### (1) 訪問による広報・PR活動

南予地域の自治体・指定医療機関、八西地区の経済団体・金融機関・商業施設、県内の主要な高等学校・大学受験予備校・医系専門予備校・学習塾などを訪問し、奨学生募集ポスターの掲示や奨学金制度リーフレットの備付など協力を依頼した。

#### (2) ホームページやフェイスブックなどを活用した広報・PR活動

財団ホームページの随時更新や、フェイスブックなどを活用したSNS広告の実施、四国電力㈱の広報誌「ライト&ライフ」や「伊方だより」へ掲載を依頼した。

以上